

自殺未遂者支援事業

=コーディネーター養成研修=

(実施期間)	平成 25 年度	(基金事業メニュー)	強化モデル事業
(実施経費)	723 千円 (723 千円)	(実施主体)	福岡県 (福岡大学に委託)

【事業の背景・必要性・目的】

本県では、平成 24 年度から複数の大学病院や三次救急医療機関にコーディネーターを配置し、救急搬送された自殺未遂者に対するカウンセリングの実施により自殺を図った要因の調査を行い、その要因を解決するための支援機関や団体（行政や医療機関等）へつないで、再度の自殺企図を防ぐ自殺未遂者支援事業に取り組んでいる。

コーディネーターを配置していない救急医療機関においても、自殺未遂者に関わる医療従事者がコーディネーターとしての役割を担うことができるよう、医師、看護師、精神保健福祉士等を対象とした研修を行い、人材を養成することが必要である。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

平成 24 年の自殺死亡率は 22.2（人口 10 万対）と、全国の 21.0（人口 10 万対）に比べ高いが、近年では全国の自殺死亡率を下回る年も出てきた。性別に見ると、平成 10 年頃は全国に比べ男性の死亡率が高い状況にあったが、近年男性は減少傾向にある。一方、女性ではほぼ横ばいである。年代別に見ると、40～60 代は減少傾向がみられるが、20 代、30 代については減少傾向がみられていない。

【事業目標 事業内容】

救急医療機関等に搬送された自殺未遂者の再度の自殺企図を予防することを目的とした。

自殺未遂者支援事業に取り組んでいる福岡大学が、コーディネーターを配置していない救急医療機関の医療従事者に対して研修を行い、自殺未遂者を支援につなげるためのコーディネーターとして養成をした。実施期間は、平成 25 年 12 月～平成 26 年 3 月。

【事業実施にあたっての運営体制】

自殺未遂者支援事業に先進的に取り組んでいる福岡大学病院に委託した。

【事業の工夫点】

自殺未遂者の正しい評価ができるよう、講義に加え、事例に基づき SAD PARSONS SCALE を用いた実技を行った。さらに、グループワークの形式をとり、各グループにファシリテーターをおいて、視点を掘り下げる工夫を行った。

7 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ②

【事業成果、今後の課題、その他特筆すべき点】

2回の開催予定であったが、申込者が多数あったため追加開催を行った。

医療機関が自殺未遂者と接した際の評価方法を習得することができた。

研修修了者から要望があり、応用編を開催することとなった。

(基礎編 計100名、応用編 計44名が受講)



(問合せ先) 福岡県健康増進課こころの健康づくり推進室
TEL:092-643-3265
E-mail:kenko@pref.fukuoka.lg.jp
URL : <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>